

第2回総長選考・監察会議議事要旨

1. 開催日時：令和7年5月21日（水）10：00～11：40
2. 方 法：オンライン会議（Z o o m）
3. 出席者：遠藤、国谷、國土、小林、酒匂、佐藤、関根、板東、岩間、宇野、浦野、粕谷、寺田、平地、古村 各委員
4. 陪席者：亀井、山口 各監事
5. 議題
 - 1 求められる総長像について
 - 2 次期総長選考プロセスについて
 - 3 その他
6. 配付資料
 - 1－1 求められる総長像（案）
 - 1－2 次期総長選考に向けた主な検討スケジュール（イメージ）
 - 2－1 次期総長選考に向けた課題検討
 - 2－2 代議員会選出第1次総長候補者氏名（イメージ）
 - 3－1 東京大学総長選考・監察会議議長所信表明（議長就任にあたって）
 - 3－2 令和7年度第1回総長選考・監察会議議事要旨（案）

7. 議事

1 求められる総長像について

議題1に関し、議長及び議長代行から、配付資料1－1及び1－2に基づき、求められる総長像に関するこれまでの検討状況、今後のスケジュール及び総長選考・監察会議学内ワーキング・グループにおける検討結果について説明があった。次いで、出席委員の間で、配付資料1－1の3項及び5項の表現について意見交換が行われた後、議長から、求められる総長像について、2項及び3項は配付資料1－1のとおりとし、5項は「協調的人類社会の実現」の記載を残すことについて賛否が諮られ、出席委員から異議はなく、了承された。次いで、議長から、一旦、確定した「求められる総長像（案）」を6月の教育研究評議会及び経営協議会においてお示しし、両会議での意見を踏まえ、今後さらに総長選考・監察会議において検討を進めていくことが確認された。

2 次期総長選考プロセスについて

議題2に関し、事務局から、配付資料2－1に基づき、代議員会における第1次総長候補者の推薦の結果にかかるこれまでの取扱い、論点及び検討の方向性等について説明があった。次いで、議長代行から、総長選考・監察会議学内ワーキング・グループにおける当該結果の取扱いに関する検討結果について説明があり、出席委員の間で意見交換

及び質疑応答が行われた（○は出席委員の意見又は質問であり、→は議長代行の回答である。）。

○代議員会における投票結果を公開することで、選考プロセスの枠組みを超えた総長選考・監察会議への非公式な働きかけが生じる可能性や、得票上位の候補者が第2次総長候補者として選出されなかった場合に、学内構成員の理解を得るに足る説明が困難となり、かえって学内の不和を招くことが懸念されるため、選考プロセスの透明性の確保こそが最重要であると考えているが、どのように検討されたのか。

→前回の総長選考時の学内の混乱は、第2次総長候補者の絞り込みにかかるプロセスの不透明性に原因があったことから、選考プロセスの透明性の確保は不可欠であり、第2次総長候補者の絞り込みに関しては、客観的で明確なルールを事前に定めることを検討している。そのうえで、代議員会における投票結果を非公開とすることによる学内の不信感の拡大を防ぐため、当該結果についても公開し、より選考プロセス全体に対する透明性を高めたいと考えている。

○代議員会における投票結果の公開により、第2次総長候補者を絞り込む際に総長選考・監察会議委員に心理的な圧力がかかるなど、かえって公平性を欠く恐れもあることから、選考プロセスの透明性を徹底的に確保することで客観性を確保する形が望ましいのではないか。

○情報を非公開とすることで異議を受け付けない姿勢は古いように感じるため、得票数を公開しない場合も、順位については公開するほうがより公平ではないか。

○代議員会における投票結果を公開した場合も、現行の制度ではその後の選考プロセスが不透明であることから、第2次総長候補者の絞り込みの結果について学内の十分な理解が得られない可能性があるため、公正性の観点から学内の理解を得られるように第2フェーズ以降の制度についても整備していくことが重要ではないか。

○代議員会における投票結果の公開に伴う問題点はあるが、前回の総長選考時の課題は、選考プロセス全体の不透明性にあったことを鑑み、当該結果を公開し、総長選考・監察会議が第2次総長候補者の絞り込みの結果に関する説明責任を果たすことで、透明性を重視する姿勢を示すことや選考プロセス全体の信頼性を高めることにつながるのではないか。

○第2フェーズについて、面接の質が第2次総長候補者の絞り込みの質に直結するため、面接時間や内容について、今後議論を深めていくことが重要と考える。

○経営協議会からより良い第1次総長候補者を推薦するためには、経営協議会において相当な時間を費やして議論する必要があるため、次期総長選考全体に関する検討として、当該推薦の過程についても検討すべきではないか。

3 その他

議長から、配付資料3-1に基づいて、本学ホームページ内の総長選考・監察会議ページに所信表明を公表したことについて、報告があった。

以上